



## 日本国への提言

令和 8 年 1 月 13 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界における現実の一つの判断を日本へ与える。資本力を背景にした先端産業は新たな世界を模索するものであり、資本力と技術力はその経済の現実である。

またすべての国家における政治への判断はその経済や財政、自己安全保障や外交において自国の安定性や健全性を明確に現実において問うことができるのである。

これらは優れた知性の進歩は現実への正しい判断と構築を可能とできるものであり、それらが現実における格差や相違性性を与えることは真実である。

これらは今日の世界の現実への正しい考察であり、日本における政治の現実は忌憚各現状を与えたものであることは理解すべきである。なぜならば何ごとも原因を持たず与えられることのないからである。

これらは先だって自己を改めることが、現実を解決するものであることは理解されるべきである。現実是唯一自らの行動の結果であるからである。

政治は人々の模範として自己を要求され、正しい現実の構築を自己において要求されるのである。

これらは政治における優れたコンセンサスや理解は、唯一未来を求める基盤であることは理解されなくてはならない。

これらは政治が有する責任であり、最も優れた知性がそれに集わなくてはならない。それらは世界における趨勢であり、それらは一切否定できないのである。

これらは正しい現実の考察であり、そのもとで日本の現実を考査するとき、すべての誤りに対してその解決を求め、国家運営の正常化を要求されるのである。

これらは高い倫理的視点や、正しい哲学性における判断が現実を与える必要性なのである。